

相国寺御用達

京菓菓

雲龍

雲龍は相国寺に保存されている狩野洞春の龍画に感銘を受け創作した、京菓匠・俵屋吉富の代表的な名菓です。雲龍の奥深い旨さの秘密、それは精選された材料と、一本一本心をこめて巻いていく手づくりの味にあります。心をこめた贈り物に幸福を呼ぶ雲龍をどうぞ……。



圓明

平成二十三年 夏号(第九十六号)

道心

大本山相国寺
相国会本部

東日本大震災でお亡くなりになった方々に、
謹んで哀悼の意を表し、
被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます、
一日も早い被災地復興を祈念いたします。

大本山相国寺 相国会本部

目次

表紙写真◎「返魂」相国寺第一三〇世 大津樫堂老師筆（於、京都東山如意ヶ岳山頂付近）

カラーグラビア◎東日本大震災物故者追悼諷経厳修	2
◎台湾臨濟寺世界平和祈願法要	4
御挨拶	6
大相国寺・玉佛寺より、東日本大震災のお見舞い状を頂く	11
機根	14
返魂	23
本山だより	27
教区だより	38
教化活動委員会活動報告	56
承天閣だより 鹿苑寺大書院旧障壁画全面修理完成記念「若冲 水墨画の世界」	57
心のすがた	60

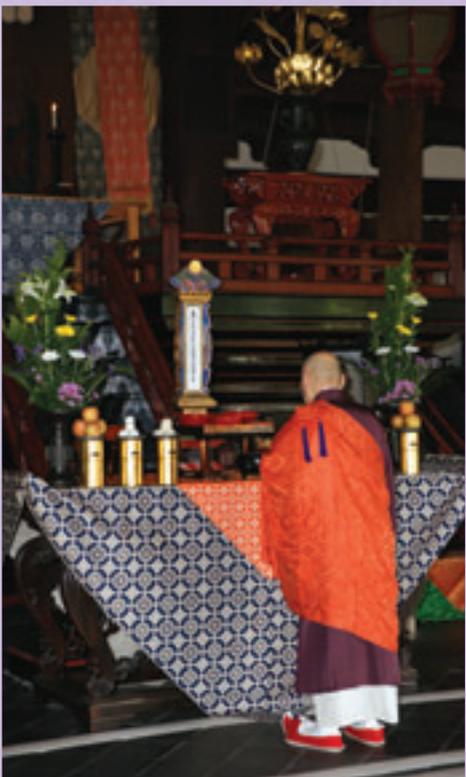
教化活動委員会委員長 佐分宗順





東日本大震災 物故者追悼 諷経 厳修

追悼諷経は管長猊下を導師に一山総
出頭のもとで行われ、京都市長の門
川大作氏、相国寺総代各氏も列席した。



同 鹿苑寺執事 慈雲院住職 草場周啓	同 承天閣事務局長 長榮寺住職 鈴木景雲	相国寺史編纂室長 長得院住職 緒方香州	同 部員 光源院副住職 荒木泰量	同 部員 真如寺住職 江上正道	同 部員 大光明寺住職 矢野謙堂	同 部員 是心寺副住職 和田賢明	同 部員 慈照院副住職 久山哲永	同 部員 豐光寺住職 佐分宗順	同 部員 豐光寺副住職 佐分昭文	同 部員 普廣院住職 荒木元悦	宗務總長 普廣院住職 山木康稔	宗務部長 光源院住職 荒木元悦	宗務部長 普廣院住職 山木康稔	管承天閣美術館館長 有馬賴底	相国会總裁 有馬賴底	副總裁 山木康稔	會長 片岡匡三	本部長 矢野謙堂
--------------------	----------------------	---------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	------------	----------	---------	----------

第六教区 正光明寺住職 松本憲融	第五教区 正保壽寺住職 藤岡牧雄	第四教区 副真乘寺住職 木下雅教	第三教区 正善應寺住職 五十嵐祖傳	第二教区 正竹林寺住職 牛江宗道	第一教区 正養源院住職 平塚景堂	第一教区 副林光院住職 澤田宗泰	第一教区 正養源院住職 平塚景堂	第一教区 長得院住職 緒方香州	第二教区 竹林寺住職 牛江宗道	第三教区 福圓寺住職 大谷昌弘	第四教区 東源寺住職 角野元保	第四教区 善應寺住職 五十嵐祖傳	第五教区 保壽寺住職 藤岡牧雄	第六教区 光明寺住職 松本憲融	慈照寺執事 瑞春院住職 須賀玄集	同 執事 桂德院住職 小出量堂	同 執事 養源院住職 平塚景堂
------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------

宗務支所正副長

宗議會議員



台灣臨濟寺本堂前



管長猗下と圓宗台灣仏教会會長



(本山だより27〜29ページ参照)

慈照寺華務佐野珠寶氏献花(花博会場内)

台灣臨濟寺 世界平和祈願法要

御挨拶



宗務総長 山木康稔

本派寺院の住職、その補佐、寺務に多忙な寺庭婦人、更に檀信徒の各位には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本年の定期宗議会が三月十一日に開催されまして、不肖未熟者凶らずも宗務総長に推挙され、五月一日付にて拜命致しました。

新内局は別記の如くで、力強く発進致しました。相国寺の六百年に余る歴史を振り返りますれば幾多の難関を越えて、今日があることは明かで、優れた祖師、越格なる先徳があったればこそであります。ここに至っては、関係諸大徳のご指導、ご鞭撻ご法愛が無くては、到底大任を果し得ません。依つてよろしくご支援を頂戴して、浅学非才の身ではございます

が、精進を重ねて参り度いと存じます。

時を同じくして、東日本大震災が発生し、福島第一原発事故も重なって、これが、今政財界のみならず、今や消費税など家庭に迄、激震の波がせまつて来ています。

震災発生時には、まだ金閣鹿苑寺に席がありまして、翌十二日から即参拝のご来客有志の方々に、各自梵鐘一打、義援金をお願い出来ました。尚、初月忌に、執事と職員が鐘楼の前で、物故者の追悼法要を修行させて頂きました。

本山法堂では、本尊釈迦如来の真前で管長猥下を導師に、門川大作京都市長の御臨席、御焼香も忝くし、本山の総代さん^{ほか}外の御出席、御焼香も有りまして犠牲になられた方々に、謹んで追善供養して、ご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、この未曾有の被災地の方々に佛の加護あらんことを祈願しました。何人も一人で生存する事は出来ません。互いが力を貸すことで社会が成り立っています。

今こそ、広義で隣人との協力支援体制が少しでも大きな輪となつて拡大し、個々の我執を脱し、「和」の心で包まれる社会を築きたい。

つぎに、管長猥下自らが濃茶席の席主となられて、越後三葉山茶会が五月十五日に開催された。場所は新潟市江南区沢海、主催は財団法人北方文化博物館である。曾て、伊藤家が越後随一の豪農として、巨万の富を築いた土地でもあります。敷地面積八千八百坪、建坪千二百坪、部屋数大小六十五を数え、野外劇場も備わっています。

樹木も多数茂り落ちついた林の雰囲気なども佳く、考古資料館(古伊万里の大皿、旧地主時代の文献、出土品等展示)、茶の間の南廊下には、一本杉の丸桁(三十メートル)、その他五つの茶室(正三角形の茶室他)等、庭の藤棚、幹共立派で、淡い紫色の花はこれ以上つけられぬ位下がり、皆をして感嘆させていました。

そんな雰囲気の中、待合は空軒(床・溜込みの技法を用いた伊藤若冲筆葦花翡翠図)、本席積翠庵(床・海北友松筆生死去来云云)、管長自ら練られた濃茶の一碗に、それぞれが心ゆく迄「茶禅一味」の境地に浸られている様子でした。満面笑みの眉を開けられ、銘品の茶碗、そして三器拝見も席主の豊富な独特の解説に皆んな感服、ご満悦でした。

大呂庵と称せられ、宿に充てられた食堂に横長で次の様に墨書された額が掛けて、蒼竹書(新潟の書家)とあり、内容を参考に紹介致します。

長寿十則
少肉多菜
少塩多酢
少糖多果
少食多齋
少煩多眠
少怒多笑
少言多行
少欲多施
少衣多浴
少車多歩

各人、両親から頂いた身体、日頃十分留意して、一生大切に使用させてもらわねばなりません。元気で長寿、合掌の世界が生まれて、一人ひとりが、善根功德を積み重ね上げることが大切であります。それが延いては福寿無量の世界へとつながって参ります。経文に「存者福楽寿無窮、亡者離苦生安養」とございます。この文言こそ生きとし生ける者が望む理想の姿ではないかと存じます。

今年もすぐそこに盂蘭盆が近づいて参りました。お釈迦さまが、目連尊者に盂蘭盆供養の功德をお示しになられたのが、お盆の始まりとされています。今では

日本各地に定着して、暮しに深くしみ込んでいます。仏縁を大切にここで改めて、心からご先祖のご冥福を祈り、更にご先祖への感謝を家族一同が心がけ報恩の日々をおくりましょう。

大相国寺・玉佛寺より、東日本大震災のお見舞い状を頂く

先の東日本大震災の折に、中国河南省開封の友好姉妹寺院大相国寺(釋 心廣住職)と上海玉佛寺(覺 醒住職)より心温まるお見舞いの手紙を日本国と相国寺に頂きました。ここに掲載してご紹介します。

[大相国寺からの手紙(原文)]

慰 問 電

尊敬の大本山相国寺有馬頼底管長:

惊悉贵国遭受强烈地震和海啸，造成重大人员伤亡和巨大经济损失，开封市佛教协会谨代表全市佛教徒表示诚挚慰问，对遇难者表示深切哀悼。无缘大慈，同体大悲，我市佛教界同仁对贵国人民遭受的灾难感同身受，并愿本着佛陀代众生受苦的精神和你们共渡难关。开封市佛教协会正在组织大相国寺、普济寺、古观音寺等全市各大佛教寺院举行消灾祈福法会，祈愿灾害不要扩大，祸害不再发生；生者消灾免难，健康如昔，亡者得到安息，往生净土。并相信贵国政府和人民一定能够战胜灾难，克服困难，重建家园。

开 封 佛 教 协 会

开 封 大 相 国 寺

二〇一一年三月十六日

本山の共同墓地には、新たに合同墓が完成し、将来無縁に或は現在もお墓の維持が出来なくなる危惧、例えば相続人が外国に赴任して帰国の可能性が無い、女子の婚家が遠方でお墓の維持が困難等今後の利用は広範囲です。

この墓地に埋葬されているお墓をご使用の墓檀各家を対象に毎年八月第一日曜日、午前八時より管長猥下をはじめ、一山僧侶の出仕によりまして、墓地施餓鬼が私の知る限りでも、もう四十数年続いています。本山墓地使用者の殆んどのお家の老若男女幅広い年齢層の方がお参りになり、僧侶が行導して、各檀家のお墓の前にさしかかった時、手を合わせて無言の会釈で感謝の気持ちを表して下さいます。この際、一山大衆は言葉に表現出来ない位、お墓を介して、寺と檀家のつながりを有難く意識するところでもあります。決して、京都在住の関係者のみならず、末寺の檀家の分家の方の中にも、結構、本山の相国寺墓地をご使用頂いている方がございます。これからも、日頃、檀家でお目にかかれな方々と宗門活性化の上からも、この機縁を大事に温めて、寺檀双方が固い絆でもって、この有難い「法縁」を大切にして行ければと念じております。

[玉佛寺からの手紙(訳文)]

尊敬する有馬頼底 管長猥下

貴国東北・東京地域は未曾有の大地震と津波に襲われ、数多くの被災者と甚大な経済的損失をもたらしたことを知って驚きました。この国難にあたりまして、私は上海市佛教協会・上海玉佛寺一同を代表しまして、謹んで衷心よりお見舞い申し上げますとともに、被害者に衷心より哀悼の意を申し上げます。

自然災害は、人類が避けられない痛みや苦しみであります。数々の自然災害に苦しめられてきた中国人民にとって、この未曾有の東日本大地震がもたらした災難は、肺腑が引き裂かれる思いであります。

中日両国は一衣帯水の隣国であり、中日両国の佛教は一派相承の法乳関係であります。中日両国の佛教徒が手を携えて肩を並べ、「無縁大慈・同体大悲」という精神に基づき、この未曾有の天災に立ち向かって、被害者のご冥福をお祈りしましょう。釈尊の慈悲の光が遍く日本を照らし、人類の災難が一日も早く静まり、被害者が浄土に往生され、被害に苦しめられている人々が一日も早く抜け出してくれることをお祈り申し上げます。

南無阿弥陀佛

中国佛教協会副会長
上海市佛教協会会長
上海玉佛寺 住職
覺 醒
2011年3月12日

[大相国寺からの手紙(訳文)]

尊敬する大本山相国寺有馬頼底 管長猥下

貴国東北・東京地域は大地震と津波に襲われ、数多くの被災者と甚大な経済的損失をもたらしたことを知って驚きました。当会は開封市佛教徒を代表しまして衷心よりお見舞い申し上げますとともに、避難者に衷心より哀悼の意を申し上げます。

無縁大慈・同体大悲といわれるように、当会一同は貴国国民が遭遇している災難を自分の苦しみと思い、佛陀が衆生の身に代わって苦しみを味わうという精神に基づいて、貴国の国民とともに難関を乗り越えようと思っております。

当会は、大相国寺・普濟寺・古観音寺等の寺院の僧侶を集めて、攘災祈禱法要を営み、災害の減少、災難の断絶、生存者が災難の被害から救われて健康状態が回復され、遭難者のご冥福を祈り、浄土に往生されることを祈念する計画であります。

貴国政府と国民が必ず自然災害を乗り越えられ、国や家庭を再建されることを確信しております。

開封市佛教協会
開封 大相国寺
2011年3月16日

※無縁大慈・同体大悲：関係の無い人にも手を差し伸べ、慈悲の心を持ち、他人のことも、自分のことと同じように優しく思う心

機 根

演劇塾 長田学舎 西村諭士

僕は相国寺般若林に稽古場を持つ劇団おさだ塾で芝居の勉強をしています。二千年にこの世界に入って早十年。気が付けば父は七十、母は六十三になっていました。お陰様で大きな病気も無く、今も元気に過ごしています。ここまで僕が芝居を続けられたのも、偏にこの両親の健康のお陰だと感謝しております。

ですが、こんな親、特に母に素直になれたのは数年前のことでした。僕の母は実に信心深い人でした。例えば、朝晩毎日欠かさず神棚と仏壇に般若心経三巻をあげ、毎晩般若心経の写経をし、西国や小豆島の霊場を巡っております。先日、母が宗教に傾倒していった原因が、生まれてすぐ体調を崩した僕にあると聞き驚きました。ですが、子供の頃の僕はそんなことはつゆ知らず、家の事より神仏に時間を割く母がとても嫌いでした。

僕は仏壇で手を合やすよりドリフの方が良く、「火渡り」なんて兄とのチキンレースでしかありません。しかし母はそんな僕達を余所に、家事そつちのけで滝に打たれに行き、挙げ句の果てに、「西村家が安泰なのは私のお陰」と言い出す始末。

子供にしてみれば、そんな事より家に居て欲しかっただけなのです。そんな母の姿を見て育ちましたので、母をこの様な行動に駆り立てる宗教というものに、自然と嫌悪感を覚えるようになりました。

それが決定的になったのは、僕が中学二年生の時、父の母、祖母の死んだ時でした。母の父、祖父が倒れた時、母は祖父が亡くなるその日まで、毎朝始発の電車で滋賀の田舎から東大阪の石切さんまでお百度を踏みに行き、僕たちが学校へ行く前に戻ってくるという生活を続けていました。その母が祖母の死には涙一つ見せなかったのです。

「所詮、血には勝てない。宗教なんてそんなもんさ、ゴータマ・シツダールタよ。」

と、僕は茶毘に付される祖母を冷ややかに見ていました。

それから月日が経ち、おさだ塾で勉強させて頂く事になり、僕は京都で一人暮らしを始めました。その生活の中で休みの日は京都散策をすることにしました。自転車でのんびり史跡を巡ります。

そんなある日、祇園祭も終わり、夏の本番がはじまった頃でした。いつもの様に自転車で京都を巡っていると、京都でも有数の大きな



お寺に着きました。時刻も丁度十二時を指していたので、当時八十円のチーズバーガーを二つ買い、コンビニで買った発泡酒を持って、そのお寺の境内で中食ちゆうじきを取る事にしました。チーズバーガーを冷えた発泡酒で流し込むのは、夏の陽気で火照った体には格別でした。また、目の前にはあの時唾を吐いた宗教に群がる人達がぞろぞろ蠢いています。酒の肴には最高でした。

食事を終えると、もう少し人間ウォッチングしてやろうと、場所をお堂の方へ移しました。目の前に広がる境内を、○×観光の旗の後ろに連なる参拝者の列は、まるで蟻の行列の様でした。

暫くほろ酔い気分で人を眺めていますと、山門の方から、足が悪いであろうおばあさんが一人、杖をつけてよちよち歩いて来られるのが見えました。後から来た人達に次々と抜かれる程の足取りです。ようやく本堂の前に着くと、大きく息を吐かれました。

この本堂に上がるには靴を脱いで、階段を上らなければなりません。

おばあさんはスノコの前で靴を脱がれました。足が悪いので、靴を脱ぐのもやっとでした。その間にも参拝者がおばあさんを抜いて本堂

へ上がっていきます。靴を脱がれたおばあさんは、再び階段の前で立ち止まられました。おばあさんの足には段差が高過ぎたようです。僕は助けようと思ひ、ちょっと腰を上げましたが、ここで僕の暗黒面が顔を出しました。

「これは良い試金石になるのでは・・・。」

僕は再び腰を下ろすと、この状況を観察することにしました。

案の定です。他の参拝者は、おばあさんなど目もくれず、我先に本堂を目指して行きます。

「ざまあ見ろ、これが人間の姿だ。おのが利益の為に、他人など目に入らない。ブツダよ、あなたの説かれた真理の法は、この極東の地で地に墮ちたのだ。」

僕は心の中で高らかと勝利宣言をしました。

もう十分だろうと、僕はおばあさんの所へ行こうとしました。

その時です。おばあさんが、静かにその場で合掌されたのです。

「・・・。」

僕は言葉を失い、全身に電気が流れた様な錯覚を覚えました。そし

て、訳のわからない涙が溢れてきました。

「そうか……宗教とはこういう事だったのか……。」

おばあさんの手を合わされている姿は完璧でした。一分の隙もない、ありのままの姿。ご自身の足の事か、子供さんの事か、お孫さんの事



か。手を合わす理由なんて、そんなものはどうでも良かったのです。この姿こそが人間なんだ。弱くて、ずるくて、傲慢で。だから手を合わす。それ以上でもそれ以下でもない。この美しさたるや……。

おばあさんが顔を上げられると、実に清々しい顔でした。もう僕は完全にやられました。おばあさんは何事もなかった様に、再び靴を履き、山門の方へぼちぼちした足取りで歩いて行かれました。

腰が抜けたように座って、人目もはばからず涙を流していた僕に、更なる衝撃が走りました。

「待てよ……。もしかして、この時代、この国に、この親の元に生を受けたということは、このダンゴ虫の如き人間の中にも、一分の『仏性』というものがあるという事を教えてくれる、全て『ネタ振り』だったのか……。」

そう思うと、積乱雲の向こう側で、お釈迦さんが涅槃図の微笑みを浮かべられている様で……。全ては掌の上の出来事に過ぎなかった様です。

それからまた月日は経ち、子供の頃あれ程毛嫌いしていた宗教に触

れる機会が増えてきました。

「つまづく石も縁の端」

三十五にもなつてバイトと芝居。社会的に見ればゲジゲジ以下の存在ですが、まともな道を歩んでいれば、こんな考えには至らなかったかも知れません。

いや、至る至らないなどどうでも良いのでしょうか。日々、生かされている事に感謝。

お父さん、お母さん、ありがとう。そして、ご先祖さん。

またお会いできるその日まで。

合掌

平成二十三年度

在錫者名簿(雨安居)

香川(東)	正楽寺徒	上杉正航	石川(国)	吉祥寺徒	山田慈康
京都(南)	光雲寺徒	中川秀峰	栃木(饒)	願成寺徒	長尾徳宏
京都(相)	光源院徒	荒木文元	富山(国)	興国寺徒	桃井宗純
兵庫(妙)	霊雲寺徒	林明慶	富山(国)	国泰寺徒	藤木宗徹



教学部長 矢野謙堂

毎年八月十六日は京都五山の送り火が厳

修される。中でも東山如意ヶ岳の大文字が

闇夜に浮かび上がるシーンはテレビ、新聞

他様々なメディアで取り上げられ誰しもが知

るところである。今号の表紙に見慣れない石碑

を掲載させて頂いたが、表紙解説のとおり石碑の

字は先々代の管長大津樞堂老師によるものであり、

まさに如意ヶ岳「大」の文字の中心付近に位置している。

昭和三十二年に建立された。石碑の揮毫を依頼したのは当時の慈照寺総代さんであった。当時は第二次世界大戦終戦からまだ十二年である。日本はもちろん諸外国で多くの尊い命が犠牲となった。戦時中京都より出征する兵士は大文字山の方に向かって「行ってきます」と合掌し、無事に戻ると「無事に帰りました」と報告したそうだ。しかし多くの者が戻って来なかった。総代さんは帰れなかった者の慰霊のため、せめて魂だけは返ってきて欲しいとの願いをこめて依頼されたのではなからうか。樞堂老師は如何なる思いで揮毫されたのだろう、亡くなった多くの御霊を弔い、永遠の平和を願い一筆書かれたことと拝察する。大文字の火床の一つを預かる保存会会員の方が、毎年送り火の前日に相国寺管長に最初に火床にくべる薪に揮毫をお願いしに来る。現有馬管長も前梶谷管長も必ず平和祈願をお書きになってこられた。返ってきた魂は、再び戻っていく。すなわち精霊をお迎えし、お送りするのである。今年は特に東日本大震災という未曾有の大災害で多くの方が犠牲になられた。東北を中心とした被災地



勢いよく燃える火床

の方々もテレビ、インターネットなどの映像を通じて映し出される送り火に亡き人への思いを新たにされることであろう。

昨今は送り火を「大文字焼き」と言っても憚らない人もいる。日本の夏の風物詩として定着し、京都においては観光の目玉にもなりそれによる経済効果も当然ある。覚えやすい呼び方ではあるが、紛れもない宗教行事であり「五山の送り火」と呼ぶのが正しい呼び方である。送り火は保存会の多大な努力や、消防・警察当局による安全確保の上に成り立っている。当日は山頂付近で慈照寺執事や、浄土院(浄土宗)による読経もそれぞれ行われ、居合わせた登山者も一緒に祈りを捧げている。

亡き人を供養し、先祖を敬うことは生命の有難さ、大切さを再認識することでもある。送り火は二十分程で消えてなくなるが、一人一人に無事を願う平和を愛する気持ちが残ってほしいと願うものである。精霊も「安心して戻り安心して帰っていける」という世の中でありたいとの願いも「返魂」にはあると確信する。

本山だより

○慈照寺六家元献茶式

十月十六日に慈照寺(平塚景堂執事長)で開催された総合落慶法要(円明九十五号参照)を受けて、六家元による献茶式が次の日程で開催された。十一月八日裏千家、十日宗徧流、十五日遠州流、十七日官休庵、十八日藪内流、十九日表千家。各席とも五百名を超える出席者でにぎわった。

○鹿苑寺開山忌

十一月二十一日、鹿苑寺(山木康稔執事長)では開山忌並びに開基足利義満公の諷経が厳修された。管長猥下を導師に輜光室老大師、江上宗務総長はじめ一山尊宿により諷経がなされた。

○玉龍院先住職黙堂和尚大士忌

十一月二十七日、玉龍院(坂根孝慈住職)に

において先住職坂根黙堂師の大士忌(二十五回忌)が厳修された。住職導師の下、管長猥下、江上宗務総長はじめ一山尊宿、縁故寺院、檀信徒の方々が参列し、楞嚴行導・塔参諷経が行われ、師の遺徳を偲んだ。

○臨黄合議所理事会

一月十九日、臨黄合議所理事会が東急ホテルにおいて開催され、江上宗務総長が出席した。

○第一教区総会

二月十七日、第一教区総会が管長猥下以下第一教区各寺院の住職、副住職二十名が出席のもと開催された。

○台湾臨濟寺平和祈願法要

二月二十三日台湾臨濟寺(釋真光住職)にお

いて世界平和祈願法要が厳修された。この法要は妙心寺派靈雲院住職則竹秀南老師の呼びかけに応じたもので、有馬管長が導師を務められた。当日は台湾副総裁蕭萬長閣下も来賓として参列され、本山より桂徳院小出量堂住職、大光明寺矢野謙堂住職が、また靈雲院縁故の寺院や慈照寺華務会員、煎茶道方圓流門人多数が随喜した。

尚法要に先立ち華務佐野珠寶氏による献花と方圓流家元水口豊園氏による献茶が行われた。台湾臨濟寺は明治三十四年に建立された妙心寺派の台湾別院であり、相国寺派四代管長山崎大耕老師が当寺の第三世住職を務められ、戦後平成二十年には同派に復帰している。

午後は当時開催されていた台北国際花博覧会会場に場所を移し、日台文化交流会が行われ、台北市政府民政局長黃呂錦茹氏の開会宣言の後、有馬管長が挨拶し引き続き会場内の池に突き出た舞台で、佐野氏による献花と方圓流台湾支部による献茶が行われた。会場内には淨覺

日台世界平和祈念法要晚餐会挨拶文

尊敬する台湾副総裁蕭萬長閣下、尊敬する臨濟寺釋真光住職、本日ご列席の日台諸大徳、諸先生に一言お祝いを申します。此の度は臨濟寺におきまして平和祈願法要が厳修されましたことは誠に慶賀の至りと存じ、謹んで拝を捧げます。

今日世界の情勢は時々刻々と変化しております。私たちはどんなことがあるうとも、ゆるぎない敬意と友情の念を持ち、日台両国の友好促進を願わなければならぬのであります。

結びに諸大徳諸先生の健康とご多幸を祈念してご挨拶と致します。

有難うございました。謝詞

日本国臨濟宗相国寺派管長 有馬頼底

合唱団による歌と妙心寺派阿弥陀寺住職釋光明師による尺八演奏が流れ、居合わせた観客は、池を囲んで集まり日本文化を楽しんだ。

夕刻には台湾市内の圓山大飯店において晚餐会が開催され、有馬管長が挨拶(挨拶別記)され、日台友好を深めた。(巻頭カラー参照)

管長香語は左の如し。

臨濟寺頭絶世塵 臨濟寺頭、世塵を絶す
青松緑竹是全真 青松緑竹、是れ全真
天花動地風光別 天花地を動じて、風光別なり
徳化茶烟輕颺辰 茶烟を徳化す輕颺の辰

○布教師特別研修会

十二月二十六日より二十八日まで、天龍寺本山において布教師特別研修会が開催され、布教師会副会長の松本憲融師(六教区光明寺住職)はじめ、石崎靖宗師(四教区海岸寺住職)、福場宗康師(五教区萬福寺住職)の本派布教師が参

加した。開会式・閉会式には江上宗務総長、佐分教学部長も出席した。

○第七回臨黃教化研究会

二月二十八日と三月一日の両日、花園大学の教堂並びに花園会館において臨黃合議所主催による第七回臨黃教化研究会が開催され、牛江宗道師(二教区竹林寺住職)、石崎靖宗師(四教区海岸寺住職)、松下恵悟師(六教区永徳寺住職)、芝原祥三師(同感応寺副住職)、松本昭憲師(同光明寺副住職)の五名が参加、また開講式と基調講演には江上宗務総長、佐分教学部長も出席した。また基調講演後、班別で行われる分科会では、佐分部長も加わり盛んな討議が行われ、他派の和尚方と共に研鑽を積んだ。

○定期宗会

三月十一日、平成二十二年度定期宗会が本山会議室で開催され、松本憲融師(六教区光明寺住職)が議長に選ばれ平成二十一年度本派決算

報告、二十三年度本派予算案が承認可決され、また相国寺本山の平成二十一年度決算報告、二十三年度予算案、並びに承天閣美術館の平成二十一年度決算報告と事業報告、二十三年度予算案と事業計画案の報告があった。

また江上泰山宗務総長任期満了につき候補者に山木康稔師(普廣院住職)が推薦され、宗制第四十一条の三項により選挙投票を行わず、依って同師が次期宗務総長に決定した。任期は五月一日より三年間。

○春秋巡教

本派布教師による二十三年度定期巡教は、石崎靖宗師(四教区海岸寺住職)が三月十三～二十二日に兵庫県但馬地方の大徳寺派寺院十ヶ寺、天龍寺派寺院三ヶ寺、南禅寺派寺院一ヶ寺、松本憲融師(六教区光明寺住職)が三月十八～二十三日に長崎県壱岐市の大徳寺派寺院八ヶ寺、福場宗康師(五教区萬福寺住職)が、四月十九～二十九日に大分県由布市、別府市、大

分市などの南禅寺派寺院四ヶ寺、東福寺派寺院二ヶ寺、建仁寺派寺院一ヶ寺で布教した。

○瑞林寺夢窓国師毎歳忌

三月二十七日、三教区瑞林寺(長谷寺高山宗親兼務住職)では開山毎歳忌が厳修され、慈雲院住職草場周啓師と山木財務・庶務部員が拝請を受け出頭した。(関連記事40ページ)

○天衣寺尼僧堂落慶法要

三月二十九日、岐阜県岐阜市野一色にある天衣寺専門道場(臨濟宗妙心寺派、臨濟宗唯一の尼僧修行道場)では、禅学林新寮舎「安住庵」の落慶法要が行われ、江上宗務総長が拝請を受け出頭した。同庵は女性篤志者の一寄進により建てられたものである。

○第二教区子供研修会・第四教区少年研修会

四月一日、平成二十三年度少年研修会が、本山において行われた。本年は第二教区子供研修

会と第四教区若狭少年研修会との合同開催で、学童七十三名、寺院十三名、役員十二名の計九十八名が参加した。登山した少年少女たちは、江上総長の法話を聞き、坐禅を体験した。また参加記念として本山より数珠とクリアファイルが送られ、別室にて本山女子職員お手製のカレーライスを頂いた後、無事帰路に着いた。

(関連記事39・44ページ)



○椿山莊三重之塔立柱式

四月十一日、東京椿山莊(藤田観光株式会社所有)内に有る三重之塔立柱式が厳修された。昨年九月十七日の塔解体修理起工式に続くもので(円明九十五号参照)、管長猥下、山木鹿苑寺執事長、他一山若手の和尚が出頭した。

○臨黄合議所理事会

四月十三日、妙心寺において、臨黄合議所理事会が開催され、江上宗務総長が出席した。

○同宗連結三十周年記念式典・総会

四月十三日、同宗連(『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議)結成三十周年記念式典がホテルグランヴィア京都で開催され、佐分教学部長と荒木教学・法務部長が出席した。また翌十四日には、真言宗智山派宗務庁において同宗連総会が開催され、佐分教学部長と矢野教学・庶務部長が出席した。

就任された。今後さらなる寺の護持、発展が期待される。

○継孝院先住職嚴道和尚超祥忌

五月十九日、三教区神戸市の継孝院(大隅高明住職)において、先住職嚴道和尚超祥忌(七回忌)法要が管長猥下導師のもと厳修された。法類、本山一山尊宿、近隣の他派縁故寺院が出頭し、楞嚴行導・塔参諷経が行われ、師の遺徳を偲んだ。

管長香語は左の如し。

暁破闇眠送梅雨 暁、闇眠を破り、梅雨を送る

山林潤足柘榴緋 山林潤足りて、柘榴緋なり

七年星露旧公案 七年星露す、旧公案

好向乃翁語秘械 好し乃翁に向かい、秘械を語らん

頼底九拜

定中昭鑑

○瑞春院先住寺庭逝去

四月十五日、瑞春院先住職(故須賀玄磨師)寺庭で、現住職須賀玄集師母の須賀衣代氏が七十八歳で亡くなられた。氏は寺庭として先住をよく支え、寺院の護持、特別拝観、布教などに尽力し、また玄磨師遷化後も更なる寺院発展に勤められた。今般疾により加療するも薬石功無く天寿を全うされた。通夜は四月十八日に江上宗務総長導師のもと、告別式は翌十九日に管長猥下導師のもと厳修され、一山尊宿、縁故在家など多くの参列者があつた。

○真如寺新任職就任

五月一日、昭和四十五年の真如寺入寺以来四十一年あまりにわたつて寺の護持に勤めてこられた江上泰山師が、任期満了に伴う本派宗務総長退職に合わせて同寺住職を退任され、閑栖和尚になられた。後任住職には、三月末まで花園大学国際禅学研究所に勤務され、平成十九年より同寺副住職であつた江上正道師が拜命を受け

○東日本大震災物故者・前本山顧問弁護士福田浩氏追悼諷経

五月二十一日、開山忌、鹿苑院殿半斎、崇陽寺殿半斎法要に合わせて、東日本大震災物故者追悼法要を一山出仕のもと厳修した。諷経に先立つて管長猥下が献茶を行い、門川大作京都市長、相国寺総代の片岡匡三、松井八束穂、石原義清、山下武の各氏が列席した。

また、長年本山顧問弁護士を務めていただき、去る四月六日に亡くなられた福田浩氏の追悼諷経も行われ、福田家から福田次子夫人をはじめ親族が参列し、氏の追悼を行った。

(巻頭カラー参照)

○慈照寺開山忌

五月二十一日、慈照寺(平塚景堂執事長)では開山忌並びに開基足利義政公の諷経が厳修された。法要に先立ち当寺華務花方 佐野珠寶氏による献花が行われ、引き続き管長猥下を導師に、頼光室老大師、山木宗務総長、京都仏教会事務局はじめ一山尊宿により諷経がなされた。



慈照寺開山忌

○日田辯財天春季大祭

五月二十三日、大分県日田市にある西之山辯財天堂で春季大祭並びにお火焚祭が厳修され、管長猥下を導師に、山木宗務総長、澤鹿苑寺執事長、矢野教学部長、荒木教学部員が出頭して大般若が転読された。当日は雨天にもかかわらず多くの参拝者があった。

○慈雲院先住職月堂和尚慈明忌

五月二十五日、慈雲院(草場周啓住職)において、先住職樋口月堂師の慈明忌(十七回忌)が厳修された。住職導師の下、管長猥下、国泰寺派管長虚室老大師、韜光室老大師、一山尊宿、縁故寺院、檀信徒の方々が参列し、楞嚴行導が行われ、師の遺徳を偲んだ。

○同宗連第一連絡会

六月一日、大阪市鶴見区の念法真教金剛寺で、二十三年度第一回同宗連第一連絡会が開催され、江上教学部員が出席した。

○第六回特別住職学布教研修会

六月二日、天龍寺において第六回特別住職学布教研修会開講式が行われ、山木宗務総長、矢野教学部長が出席した。また十一日には同じく閉講式が行われ、山木宗務総長、江上教学部員が出席した。

○二十三年度春期拝観報告

六月四日、春期拝観が終了した。今期も法堂、開山堂、宣明(浴室)を公開し、一三、六四五名の参拝があった。秋期拝観は九月十五日(木)～十二月八日(木)の予定であるが、方丈屋根葺き替え工事中につき、引き続き開山堂の拝観を行う。

○相国会本部役員会

六月六日午後一時より本山会議室において、平成二十三年度相国会本部役員会が開催された。二名の理事を新たに迎えたうえで、四教区理事の平田一郎氏を議長に選出して審議に入



相国会本部役員会

り、平成二十二年度事業・決算報告、二十三年
度予算案、事業計画案がそれぞれ承認可決され
た。

当日の出席者は左記の通り。

理事 顧問

第一教区	欠席	平塚 景堂
第二教区	波多野 外茂治	牛江 宗道
第三教区	小川 武義	大谷 昌弘
第四教区	平田 一郎	五十嵐 祖傳
第五教区	黒田 儀重	藤岡 牧雄
第六教区	欠席	欠席

他、内局

○観音懺法会

本山恒例の観音懺法会が六月十七日午前七
時半より厳修された。方丈工事中の為、本年よ
り大書院に場所を移し、参拝客は招待せずに行
われた。

◆役配

導師	大光明和尚	太鼓	林光和尚
香華	哲永東堂	大鈸	正道西堂
自婦	玉龍大和尚	中鈸	宗秀座元
打磬	弘祐西堂	小鈸	泰量座元
維那	豊光和尚		

○臨済宗連合各派布教団理事会

六月二十七日、天龍寺において臨済宗連合
各派布教団理事会が開催され、山本宗務総長、
矢野教学部長が出席した。平成二十二年度事
業・決算報告、二十三年度予算案・巡教報告、
二十四年度新人布教師研修会計画、巡教計画
案などがそれぞれ承認可決された。

○相国寺より義援金

七月二十五日、有馬頼底管長猊下が福島県
庁を訪問し、佐藤雄平福島県知事に京都仏教
会からの義援金を手渡す予定。義援金は相国
寺、鹿苑寺、慈照寺、相国会、相国寺用達組合

の相楽社他、相国寺春期拝観中に募った分と
京都仏教会関係寺院からの分を加えて、東日
本大震災の復興支援に役立ててもらおう事にな
っている。

○東京維摩会

年内の開催日は左記の如くである。

管長坐禅会

※三月十一日に発生した東日本大震災の影
響により暫く休会と致します。

老師坐禅会

八月二十日(土) 九月三日(土)

十月一日(土)

十一月十九日(土)

十二月十七日(土)

※前号で案内しました十月十五日は一日に変
更になりました。

時間：午後一時より三時半迄

内容：「臨済録」提唱、坐禅、参禅

威儀：袴を貸与するも、足りない可能性があります
ので、ゆつたりとした服装でお願い致します。

《お知らせ》

老師坐禅会は、東京別院の改修工事が現在着
工準備段階により、次の場所で開催中です。

財団法人 仏教伝道協会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目3-14
TEL(03)3455-5851

●アクセス

JR田町駅三田口(西口)より 徒歩8分
都営地下鉄三田線、都営地下鉄浅草線 三田駅
A9番出口より 徒歩2分

※駐車場の設備はございません。

第二教区

○大應寺齋会

二月二十七日、大應寺（久山弘祐住職）で、先住道隆和尚七回忌が厳修され、二教区宗務支所長の竹林寺はじめ大雲寺、縁故寺院が出頭し、檀信徒総代、親族が見守る中、楞嚴呪が読誦された。法要後は出齋となり道隆和尚の遺徳を偲んだ。

○大雲寺齋会

三月二十六日、大雲寺（中川弘道住職）で、先住貫道和尚の慈明忌（十七回忌）が厳修された。当日は時折雪が舞う寒い一日であったが、法類である大應寺の他、縁故寺院、檀家総代、親族ら二十数名が参列、貫道和尚の遺徳を偲んだ。

○子供研修会

四月一日、第一回二教区子供研修会が、本山にて、小学生児童二十六名が参加して開催された。若狭少年研修会と合同でなされたので、都合七十数名の児童が集まり、盛況な会となった。今後、毎年続けてゆくつもりである。

○智蔵院齋会

四月三日、智蔵院（小出量堂兼務住職）で、先住道友和尚の一周忌が厳修された。法類である豊光寺・大光明寺、二教区宗務支所長竹林寺、檀家総代、親族が参列して、道友和尚の遺徳を偲んだ。

○教区総会

四月二十三日、午後三時より大雲寺で、二教区定例総会が、七名出席のもと開催された。本堂にて、本尊回向、東日本大震災物故者回向をして総会に入った。会議では、来年から始まる御親教について話し合った。恒例の懇親



子供研修会（本山庫裏の前で）



教区総会（大雲寺本堂にて）

会は八木駅近くの、大堰川を見渡す料亭「八光館」に席を移して、すばらしい景色を眺めながら、薬石を楽しんだ。

○竹林寺齋会

五月二十九日、竹林寺(牛江宗道住職)で、先住文栄和尚の十七回忌が厳修された。当日は台風が接近して激しい雨が降る中ではあったが、永源寺派管長 篠原大雄老大師、縁故寺院の是心寺、法類の慈雲院・長栄寺、十数名の檀信徒が参列して、文栄和尚の遺徳を偲んだ。

第三教区

○瑞林寺夢窓國師毎歳忌

三月二十七日、瑞林寺(三重県津市片田井戸町長谷寺高山宗親兼務住職)では、大本山から草場周啓慈雲院住職、山木雅晶財務・庶務部



夢窓國師記念碑拝塔

員を拝請し、開山毎歳忌を厳修した。

当日は晴天のもと午後一時半より本尊諷経後、夢窓國師生誕地記念碑前において大悲呪一卷読誦するなか、井戸町民こぞって参列焼香し盛大に法要が厳修され夢窓國師への想いを新たにしました。

第四教区

(平成二十二年十一月十日〜平成二十三年六月十日)

平成二十二年

十一月二十九日 住職研修会(於・善應寺)

本山より大光明寺住職 矢野謙堂師、普廣院副住職 山木雅晶師をお招きして、第四教区住職研修会が午後三時より開催されました。

先年本山より配布されました「大本山相国寺行事録一」をテキストに、本山の法式について研修。年一度の開山忌の頭ではなかなか分からない本山の独特な楞嚴呪の節回しについては、参加者一同、特に真剣に聴講し、山木師の唱導に合わせて何度も発声するなど、実に有意義な研修会となりました。

この研修会は、御親教による本山とご縁をより密接なものとしていきたくという教区住職の思いから企画されました。本年以降も可能な限り続けていく予定です。



南陽寺 新任職入寺式

十二月七日

若狭相国会 役員会

定期巡教、少年研修会行程等について協議。

十二月十八日

南陽寺新任職入寺式

先年住職の遷化により、園松寺住職の兼務となっていました南陽寺に本派第三教区法雲寺副住職加藤幹人師が住職として入寺されることになり、入寺式が執り行われました。当日は小雨模様でしたが、加藤師は、藍染めの木綿衣に袈裟文庫を掛け、網代傘に脚絆草鞋履きという雲水姿で、当寺役員の井上氏の先導のもと、全檀家が出迎える南陽寺玄関に到着。

平成二十三年

一月六日

寺庭婦人会

新年例会(於・東源寺)

新年度行事を協議。

二月十三日

若狭相国会 役員会

定期巡教、少年研修会、

総会日程等について協議。

二月十六日

宗務支所 支所会

定期巡教及び少年研修

会、若狭相国会総会日程

等について協議後、新年

会。

十二月二十七日 宗務支所 支所会

(於・善應寺)

第四教区正副支所長の改選、選挙委員の選出と開票(正副支所長、宗会議員)

南陽寺新任職の入寺報告、等々。

三月五日〜七日 若狭相国会 春のお説教会

定期巡教にあわせて、若

狭相国会主催の「春のお

説教会」が次の五ヶ寺を

会場にして開催された。

開教会場は、五日十時―

円福寺、十四時―元興寺、

六日十時―善応寺、十三

時―潮音院、七日十時―東源寺。担当布教師は、大徳寺派昌福院江口文亮師。

四月一日

若狭相国会 少年研修会
(於・本山相国寺、鹿苑寺)

児童四十七名、住職九名、相国会役員六名、計六十二名参加。

鹿苑(金閣)寺に参拝後、本山にて研修、斎座を頂き、京都市動物園にて研修。

当日は午前十時前に到着したのですが、観光客のほとんどいない金閣寺をはじめて見たと思いません。外国人のいない、観光客のほとんどいない金閣寺は、東北大震災と

四月十七日

向陽寺改修落慶法要

もに長く記憶に残りそうです。

法類長老の龍虎寺住職を導師に拝誦して、改修落慶法要が厳粛に執り行われました。式典中、東北大震災被災者への誦経、回向も行われました。向陽寺は永正十(一五一三)年に開創され、その後一時荒廃をみた時代もありましたが、慶長十九(一六一四)年に再興され、江戸時代も終わりを迎えようとする天保十四(一八四三)年に本堂が改修され、現在に至っていたのですが、老朽化が甚だしい状態でした。



向陽寺 改修落慶法要

四月二十八日

宗務支所 支所会

(於・善應寺)

本派定期宗議会報告、平成二十二年度宗務支所会計決算、平成二十三年

度予算及び本年度団参、東北大震災義捐金について協議。

五月七日

若狭相国会 役員会

(於・善應寺)

平成二十二年度会計監査及び総会について協議。

五月二十五日

若狭相国会 総会

(於・元興寺)

平成二十二年度会計決算、平成二十三年度会計予算等協議の後、花園大学国際禅学研究所副所長、芳澤勝弘教授の講演を頂戴しました。

支所より提案された東北大震災義捐金については、相国会も協賛することに決定。

今般の震災では、本地区

出身の釈宗演老師が管長を務められた円覚寺

派の末寺も被災している

とのことなので、宗務支

所、若狭相国会、教区有志

寺院からの義捐金、見

舞金、あわせて壹百万円

を、六月一日、鎌倉円覚

寺にお届けしました。

管長猥下より「宗演老師

のご縁を大事に思ってい

ただき有り難い。

当派の被災寺院のために

大事に使わせていただき

ます。」と丁寧な感謝の言

葉を頂戴いたしました。

寺庭婦人会 春期例会

(於・善應寺)

六月七日

第五教区

○相国会出雲支部総会

五月二十三日、西光院に於いて平成二十三年度出雲相国会総会を開催、教区内寺院住職・役員が出席。

平成二十二年度事業報告・決算報告のあと、平成二十三年度からの新役員を選出。会長…黒田儀重氏(西光院)、副会長…陰山清二氏(本誓寺)、会計…勝部和美氏(東光寺)、監事…大森隆嗣氏(西光寺)。引き続き、平成二十三年度予算、事業計画を審議し承認。

主な今年度の事業は、夏休み親子坐禅会、本山開山忌に団体参拝、それに管長猥下の御親教が昨年引き続き予定されている。

○東日本大震災の義援金

東日本大震災の義援金として第五教区では各寺院が個別に対応し、地元新聞社等を通じて義援金を納めた。

大切な文化財を始め、建物の安全と安心の為努力しています

電気設備工事・消防設備工事

ADACHI 足立電気工業株式会社

〒601-8045
京都市南区東九条西明田町34-21
TEL 075-681-4461 FAX 075-681-9767
E-mail: adachi-d@guitar.ocn.ne.jp



社寺庭園・町屋庭園・露地庭
作庭 管理



長岡造園

〒616-8305 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町13-3
電話 (075) 872-0005 FAX (075) 872-0004

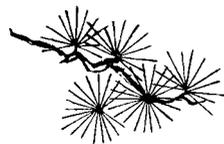
印刷を極め、印刷を超える

生産力と機動力、開発力と発想力をもって
「新しい社会に貢献する企業」を目指します。



ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所

〒604-8277 京都市中京区西洞院通り御池下ル三坊西洞院町572-4 NOA高松殿ビル6階 TEL.075-252-5421
[本社]金沢 [支店・営業所・工場]東京・金沢・大阪・富山・福井・京都・静岡 URL <http://www.yoshida-p.jp/>



www.shoyeido.co.jp




大本山相国寺御用達

香老舗 松榮堂

京都本社 / 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL 075-212-5590 FAX 075-212-5595
東京支店 / 東京都中央区日本橋人形町 2-12-2 TEL 03-3664-2307 FAX 03-3639-4969
札幌支店 / 札幌市中央区南 8 条西 12 丁目 3-6 TEL 011-561-2307 FAX 011-563-3502

京都本店 産寧坂店・大阪本町店・銀座店 人形町店 青山香房・札幌店

大本山相国寺御用達

御法衣・仏具

(株)後藤利法衣店

〒604-8273 京都市中京区西洞院通三条上ル
電話 (075) 221-4587
FAX (075) 223-0094
フリーダイヤル (0120) 014587

臨済宗御法衣調達
大本山相国寺御用達

湯浅法衣店

〒606-0905 京都市左京区松ヶ崎杉ヶ海道町5-24
電話 (075) 705-2772
FAX (075) 705-2773

大本山相国寺御用達

庭園 設計・施工

樋口造園(株)

〒602-8341 京・上京区七本松通中立売下ル
電話 (075) 462-1385
FAX (075) 464-6120

大本山相国寺御用達

精進料理

矢尾 治

〒600-8486 京都市下京区高辻堀川町358
電話 (075) 841-2144
FAX (075) 841-2110
<http://kyoto-shoujinryouri-yaoji.homepage.jp>

總本山御用達

簾安田念珠店

本店・〒604-8072 京都市中京区寺町六角角
電話 (075) 221-3735 (代表)
東京・札幌・福岡 各営業所

文化財堂宇修復保存 大本山相国寺御用達

社寺建築 設計・施工
数寄屋建築



澤甚株式会社 澤野工務店

本社
〒605-0069 京都市東山区東大路通知恩院前上ル2筋目東入
TEL (075) 561-5394 (代) FAX (075) 533-3775
山科事務所・工房
〒607-8126 京都市山科区大塚元屋敷町62 TEL (075) 541-1257 (F)

貴重な御法衣の御用は
大本山相国寺御用達

後藤新助法衣仏具店

〒616-8041 京都市右京区花園寺ノ前町30番地
電話(代表) (075) 462-3915番
ファクシミリ (075) 462-3616番
URL <http://www.rinzai.jp>
E-mail: rinzai@rmail.plala.or.jp

大本山相国寺御用達

社寺建築 **(株)北村誠工務店**

〒603-8225
京都市北区紫野南船岡東町45
電話京都 (075) 441-0563
FAX京都 (075) 441-0571

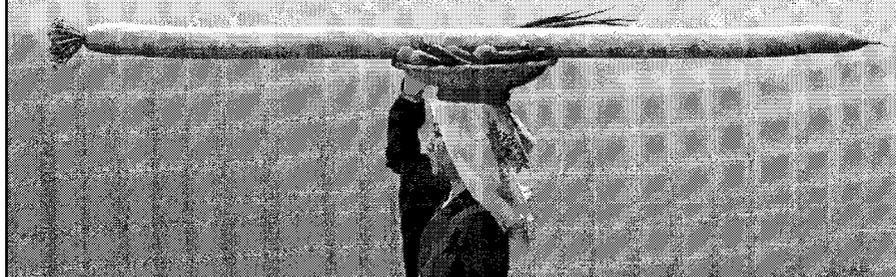
御法衣・御袈裟・御水引・戸帳・打敷
華蔓・御晋山式用品一式・稚児装束

各大本山御用達

橘兵 草木兵助商店

〒604-0024 京都市中京区衣ノ棚通御池上ル西側
電話 (075) 221-0934 番 振替京都 01090-4-3476

なが——い、おつきあい。



貯める、運用する、借り入れる、積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで皆様を応援します。お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

 **京都銀行**
<http://www.kyotobank.co.jp/>

大本山相国寺御用達

京表具

絵画・墨跡・織物・修理・一般表具一式
宗紋襖紙・御殿引手 発売元

こう えつ あん
浩悦庵

古文化財保存修理研究所
矢口浩悦庵

本社・工房 〒602-8025 京都市上京区衣棚通り丸太町上る今葉屋町318
TEL(075) 254-6021(代)・FAX(075) 254-6022

東京営業所 〒203-0014 東京都東久留米市東本町9-9 TEL・FAX(0424)72-6239

<http://www.koetsuan.com> E-mail:office@koetsuan.com

未来を描いて
みませんか。
お気軽にご相談ください。

遺言書の作成のお手伝いから保管・執行まで



遺言信託
[遺心伝心]

購入・売却・有効活用に関すること



不動産業務

【手数料等のご案内】

遺言信託【遺心伝心】 取扱手数料<新規作成時>315,000円(消費税込み)、年間保管料<遺言保管中>5,250円(消費税込み)、例)財産額2億円の場合は遺言執行報酬<相続発生時>2,887,500円(消費税込み)

不動産業務 不動産仲介業務は、当社の仲介手数料(売買価格400万円超の場合)として<売買価格×3.15%+6万3千円(消費税込み)>を申し受けます。

※税法の詳細につきましては、所轄税務署・税理士までご相談ください。

平成23年6月1日現在



三菱UFJ信託銀行 京都支店

届出第6号 (社)不動産協会会員 (社)不動産流通経営協会会員
(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

〒600-8006 京都府京都市下京区
四条通高倉東入立売中之町85

TEL.075-211-7161

電話受付/平日9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

Your Global Lifestyle Partner
 ~お客様の感動を創造します~

国内旅行

宇宙旅行

海外旅行

大会幹旋



JTB西日本団体旅行京都支店

〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 670 京都フクトクビル 5 階
 TEL:075(241)0139 FAX:075(255)6564
 (営業時間 9:30~17:30/土・日・祝日休業)



二条城のほとりに
 寛ぎがある

京都全日空ホテル

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
 ご予約、お問い合わせは (075) 231-1155
<http://www.ana-hkyoto.com>



先人たちの賜物を伝えていく仕事。

デジタル再製画「伝匠美」 www.dnp.co.jp/denshoubi/

DNP

大日本印刷株式会社 www.dnp.co.jp

抹茶

全国並びに関西茶品評会 第一位
 自園茶農林水産大臣賞 29 回受賞

有馬頼底管長御好

御濃茶 萬年乃翠

御薄茶 常光



大本山相国寺御用達

宇治 久小山園

京都府宇治市小倉町寺内八六番地
 お問い合わせ(0774)200909
 ・ジェイアル京都伊勢丹店
 ・地下一階 銘茶コーナー
 ・西洞院店・茶房「元庵」
 京都市中京区西洞院通御池下ル
 電話(075)2330909
 取扱店 全国有名茶店・茶道具店
<http://www.marukyu-koyamaten.co.jp>

二〇一一年度後半期の教化活動委員会は現代問題を取り上げた講座として佐藤優氏にお願いしておりますが、日程の調整がつかず現在のところ未定となっております。

相国寺史編纂室では、塔頭長得院住職、緒方香州師を編纂室長に迎え、事業が進められていますが、五月九日、大谷大学に整理を委託していました相国寺文書が整理を終え、無事編纂室に返却されました。今後は編纂室に於いて分類、目録の整理等を行い寺史編纂に向けて作業が進められることとなります。

また、十一月には研究員の藤田氏による講座を予定しておりますので、追ってご案内いたします。

これまでに行った研修会の講義録をご希望の方は、手数料一千元を添え、下記の相国寺宗務本所内教化活動委員会宛にお申し込みください。

申込先 相国寺教化活動委員会

〒六〇二〇八九八

京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町七〇一

電話〇七五―三三三―〇三〇一

FAX〇七五―二二二―三五九一

ホームページ (<http://www.shokoku-j.jp>)

承天閣だより

Jotenkaku Museum

重要文化財・伊藤若冲筆
鹿苑寺大書院旧障壁画全面修理完成記念

若冲

水墨画の世界





菊鶏図

菊と鶏と太湖石の組み合わせ。菊は古来より邪気をはらい長寿が叶えられる、とされる。松・鶴・亀・菊と、若冲はこれら吉祥の象徴を好んだようで、すいぶん描いている。尻尾を“ひょい”と上げた鶏の表情が実に滑稽。



竹 図

中国原産の珍しい種類。節が算盤の玉のように膨れていることから、算盤竹とも呼ばれる。この竹、曲がりくねって、しかも枝が無い。上部に、皆三角形をした葉が無数に描かれている。なんとも奇妙な。若冲は何を意図としたのか。竹の強い生命力を表したかったのか。曲がりくねったところに、自らの人生を重ねたのか。

主な出品作品

- ◇重要文化財・鹿苑寺大書院旧障壁画(五十面)
 - 葡萄小禽図襖絵 襖 四面
 - 松鶴図襖絵 襖 八面
 - 芭蕉叭々鳥図襖絵 襖 八面
 - 菊鶏図襖絵 襖 八面
 - 秋海棠襖絵 襖 六面
 - 竹図襖絵 襖 四面
 - 双鶏図 貼付 一面
 - 葡萄小禽図 床貼付 十一面
 - 月夜芭蕉図 床貼付 四面
- ◇竹虎図 梅荘頭常賛 双幅
- ◇立鶴図
- ◇鳳凰之図
- ◇昇鯉図
- ◇鱗(工イ)図
- ◇芭蕉図 梅荘頭常賛 双幅
- ◇龍図
- ◇芦花翡翠図
- ◇売茶翁図
- ◇布袋渡河図

現在の展観

◇日独交流百五十年記念、ハンブルグ浮世絵コレクシヨ展
ドイツ・ハンブルグ美術工芸博物館所蔵になる、日本初公開の浮世絵の逸品を一堂に展示。
喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川豊国、菱川師宣等の名品約二百四十点を集め、現在(九月十一日(日))

次期展示予告

◇松井文庫所蔵の能面・能装束展
肥後八代(熊本県)城主松井家に伝わる能面・能装束と端兜(よろい)がぶと、また茶道員の数々を全館で展示。
期間/平成二十三年十月一日(土)~十一月四日(日)

平成二十三年三月十九日から五月十日までの五十二日間、伊藤若冲筆になる、水墨画の作品約七十点を特別展示した。昨年、鹿苑寺大書院旧障壁画の全面修理が完成、これを記念し、本作品五十面と若冲の水墨画の掛軸を承天閣第二展示室に於いて一堂に展観。
この障壁画は、梅荘頭常(相国寺百十三世・大典)の弟子龍門承猶が宝暦九年(一七五九)鹿苑寺へ入寺(住職)した記念に、

大典の斡旋で若冲が鹿苑寺境内大書院に彩管を振った水墨の大画。昭和三十四年、全て国の重要文化財に指定された。昭和五十九年、承天閣美術館が建設された折、保存・展示のため館に移管され現在に至っている。
若冲といえば華麗な極彩色の花鳥図や仏画を思い浮かべるが、水墨の秀作も多く残している。期間中約二万人の来館者があり大いに賑わった。

とわ
永遠の安らぎ —石のカウンセラー—

株式会社 石 杖 都 みやこ



代表 坪田 忠男

年中無休 営業時間/AM8:30~PM6:00 (日曜日PM5:00まで)

本 社 : 〒603-8103 京都市北区小山北玄以町 24 番地 ヨクソ ヨイイン
(上賀茂橋西詰バス停前) 電話(075)491-4114(代)

工 場 : 京都市北区上賀茂神山 389 番 24 ヨクソ ヨイイン
(洛北病院バス停前) 電話(075)702-2440

夜 間 : 京都市左京区岩倉南池田町 117 電話(075)702-8814

御一報次第、遠近を問わず参上いたします。



心のすがた
念ねん念ねん不ふ離り心しん
離れることなく念ず

撮影◎普賢院副住職 山木雅晶
(相国寺放生池 八重茶碗蓮)